

# 現場・市民目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会

平成28年冬 vol.004

後援会にご加入ください

## おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者

# 小田博士の 市政かわら版



12月議会一般質問 「文化創造拠点ではリピーター獲得が最重要」

## 館内に文化財コーナーや健康測定器



平成27年12月14日の大和市議会本会議で一般質問を行い、28年11月に大和駅周辺にオープンする「文化創造拠点（YAMATO文化森）」などを取り上げました。テーマパーク運営ではリピーターの確保が最重要であることを踏まえ、イベントの内容を前例踏襲とせず工夫を重ねるよう提言。館内に「肌年齢」等を診断できる健康測定機器の設置を求めました。

大木哲市長は「貴重な文化財や歴史資料を展示するコーナーの設置をはじめ、FMやまことやイベント観光協会も入居する」との方針を明らかにした上で、「文化のテーマパークのような施設として、楽しさやワクワク感を持って利用していただける」と答えました。

さらに、4階の健康コーナーに「健康や医療に関する図書の配架や、健康状態をチェックできる機具の設置などを予定している」と答弁。開館記念式典については「オーケストラの演奏でホールの音響を楽しんでいただく」との考えを示しました。

### その他の主な質疑(要旨)

【魅力ある街づくり】(市長、政策部長答弁)

Q 大和市の強みは？

A 日本で一番「コンビニエンスストア」のような街だ。不妊不育症治療費の助成制度や第3子にかかる給食費無料化など、出産や子育てを希望する皆様への切れ目のないサポート体制がある。こうした取り組みは、約10年前に1・1台だった合計特殊出生率が1・4台にまで伸び、神奈川県内19市で1位になるなど、効果として実際に現れている。交通の利便性が高い。駅から半径1キロ圏内に住む住民の割合を示す「鉄道人口カバー率」は80%超で、東京都を除く関東圏でもトップクラスの水準だ。地形が平坦で誰もが住みやすく体に優しい街だ。大規模な自然災害の恐れが少なく、安心して暮らせる。貴重な自然のほか、文化創造拠点などコンパクトな街に魅力あるスポットを多く備えている。

Q 街の魅力を発信する横須賀市のパンフレットのようなものを本市でも作成し、魅力をPRすべきでは？

A これまで行政が作成してこなかった新たな切り口だ。大和市の魅力を市内外に発信していく際の参考にしたい。

【教育】(教育長、教育部長答弁)

Q 放課後寺子屋やまとの今後については？

A 平成28年度からは市内全小学校で全学年を対象とし、子供たちの思いや教育的ニーズに応えるよう運営の工夫に努める。

Q スマートフォンや携帯電話などインターネット依存防止の取り組みは？

A 教育委員会が7月に行った実態調査では、「食事中や深夜でもゲームや携帯電話、スマホを使ってしまう」と答えた割合は小学4年で15%、中学3年で37%という結果が出ている。保護者会や学校だよりなどで、長時間利用による健康被害の注意喚起を図っている。

Q 「脱スマホデー」など本市独自の取り組みはできないか？

A 禁止や制限ではなく、適正な活用に必要な知識と判断力の育成に重点を置いた情報モラル指導事例集を策定し、各校で指導に活かしている。情報モラル教育支援事業において、生徒自身が情報機器の利用を振り返り、よりよい使い方を話し合う活動に取り組んでいる。

# 特定政党が主導、関与する団体のイベントに後援名義 「市は政治的中立性確保を」

平成27年11月15日、桜ヶ丘学習センターで「平和・民主・革新の日本をめざす大和市の会」（大和市革新懇）が主催するイベントが開かれ、在日米軍駐留経費の日本側負担、いわゆる「思いやり予算」に関する映画の上映や講演が行われました。映画の予告編を見ると「お金をドブに捨てながら外国の市民たちを殺している。意味がないと思いませんか」と講釈するシーンもあり、このイベントは思いやり予算を批判する内容だったと見られますが、大和市や市教育委員会が後援していました。

日本は民主主義ですので言論の自由が保障されています。ただ、行政がイベントを後援する場合には、政治的中立性の確保が大前提です。行政が特定の考え方や思想を「後方支援」してはなりません。

私は一般質問でこの問題も取り上げました。共産党が平成18年に行った第24回党大会決議で「地域・職場に革新懇をつくり発展させることは、わが党の綱領的な任務である」と強調していることをはじめ、同党の機関誌等に記された様々な証拠を挙げ、「大和市革新懇」をはじめとした革新懇運動は、共産党が主導し深く関与していることを明らかにしました。

大和市は「後援名義に関する要領」で、後援の対象となる団体の要件について「特定の政党、宗教、その他の政治的団体及び宗教的な団体でない」と定めています。イベントの主催者は「政治的団体」であることが明白ですから、市や市教委は自ら定めた要領に違反してしまったことになります。革新懇のイベントに後援を出す自治体は県内でもほぼ皆無で、本市の対応は突出しています。

行政の基本中の基本である「政治的中立性」の問題については、今後もこだわり続けていきます。

## 大和青年会議所 定年で「卒業」しました

私は市議当選後の平成27年6月、大和青年会議所（大和JC）に入会しました。大和JCでは町おこしの活動などに取り組んでおり、自身の活動の一環として有意義だと考えたからです。JCは「青年」が集う会議所で、定年は一律に40歳と定められています。大変残念ではありますが、この12月に卒業いたしました。

私の在籍は半年間と短期間ではありま



すが、震災発生時の障害者への対応について考えるイベント（同年8月）で司会をしたり、「大和串フェス」（同6月）でテント貼りやドリンクの販売作業を手伝ったりするなど、様々なイベントや勉強会に参加し、非常に有益でした。

大和JCメンバーの皆さんは、本業の合間をぬって無給でイベントを企画・運営しており、本当に頭が下がります。皆様も是非、大和JCの活動に目を向けていただければと思います。

### ◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ  
大和市出身／上和田在住

昭和56年 高座みどり幼稚園卒園  
62年 西鶴岡小学校卒業  
平成2年 南林間中学校卒業  
5年 中央大学附属高校卒業  
10年 上智大学経済学部卒業  
26年 産経新聞社を自ら退社  
27年 大和市議に初当選

### ◆市議会等での役職

環境建設常任委員、議会運営委員、基地対策特別委員、議会報編集委員、交通安全対策協議会委員、社会福祉協議会評議員

### ◆その他の活動

大和青年会議所、大和中央シティライオンズクラブ、大和市倫理法人会など

### ◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

東京本社・整理部→千葉総局（県警や県政）→社会部（文部科学省や司法）→政治部（首相官邸や自民党、公明党、民主党、防衛省など）

### 新春の集い

平成28年1月17日（日）  
午前11時半より、桜丘コミセンで、市政報告を兼ねた「新春の集い」を開きます。会費1000円で飲食付きのイベントです。是非ご参加ください。

小田博士後援会 〒242-0014 大和市上和田1792-2-301

〈TEL〉046-206-5567 〈FAX〉046-206-4288 〈MAIL〉h-oda@nifty.com 〈HP〉http://www.odahiroshi.jp

↓ブログも随時、更新中↓